

授業科目	LA1A10	2単位	選択	講義	1 学年後期	担当 教員	教授 池田 正雄			
	比較文化論									
授業の概要	① 国際社会を主体的に生きるためには他国の文化を尊重するとともに、日本の伝統文化を学び、誇りを持つ態度・意識を持つ ② 仏教および神道を背景にした日本人の生活習慣や価値観について考察する。 ③ キリスト教文化圏とイスラム文化圏の人々の暮らしや価値観について考察する。 ④ 在日外国人が多い国の人々の文化、生活習慣、価値観を理解しつつ、多文化保育を進めるうえでの課題について考察する。									
到達目標		学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 時間や自然、信仰に対する独自の感性は、日本の伝統的なしきたり、年中行事の根底に息づいていることを理解する。		○		○					○	
2. 正月行事、豆まき、大安吉日など、日本人が長い歴史の中で培ってきた「しきたり」を具体的に学び直し、日本人の人生観に触れる。		○		○					○	
3. 世界の3大宗教の特徴やそれぞれの違いについて理解する。		○		○	◎					
4. イスラム教文化、キリスト教文化、仏教文化とそれぞれの文化を背景にした人々の生活習慣や価値観について理解する。		○		○	◎		○			
5. 在日外国人が多い国の人々の文化、生活習慣、価値観を理解し、多文化保育のための教養を身に付ける。		○		○	◎		○		○	
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はVページ参照										
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標				復 習			
1	オリエンテーション 多国籍化する保育	・シラバスに目を通しておく ・保育所保育指針における国際理解に関する記述を確認しておく。	<ul style="list-style-type: none"> ・講義の目標、進め方および評価の方法を理解する。 ・保育における国際化の進展の現状を知る。 ・国際理解を意識した保育の必要性の高まりについて知る。 				教科書、参考図書等の確認 ノートを見直す。			
2	日本人の自然観と信仰 正月行事のしきたり (1)	テキスト①20～55 ページを読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に敏感だった日本人の暦について理解する。 ・「ハレ」と「ケ」—普段の日と特別の日を使い分けたいわゆる。 ・日本古来の正月の行事の意味を理解する。 				教科書を読み返し、日本人の自然観を確かめる。			
3	年中行事のしきたり (1)	テキスト①58～72 ページを読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・「節分」「お彼岸」「七夕」などの行事について知る。 ・お盆やお彼岸などの行事を大切にしてきた日本人の心情について理解できる。 				自分の身の回りの行事について思い起こしてみる。			
4	年中行事のしきたり (2)	テキスト①73～84 ページを読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・「お盆」、「お月見」などの行事について知る。 ・「除夜の鐘」をつくようになった理由を知る。 				お盆から暮れに行う行事の意味を再確認する。			
5	仏教の基礎	テキスト②22～28 ページを事前に読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・仏教の基本的な教えを理解する。 ・イスラム教、キリスト教との相違点を学ぶ。 ・上座部仏教と大乘仏教の違いを理解する。 				授業中使用プリント、ノートを読み返してまとめておく。			
6	仏教および神道と日本文化	テキスト②200～203 ページを事前に読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化と仏教とのつながりを学ぶ。 ・神道の特徴および仏教との関係を学ぶ。 				教科書、ノートを読み返してまとめておく。			
7	イスラム教の基礎	テキスト②95～104 ページを事前に読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・ムハンマド、コーランについて理解する ・6信5行について理解する。 				授業中使用プリント、ノートを読み返してまとめておく。			
8	イスラム文化と人々の暮らし	テキスト②165～168 ページを事前に読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラム教の信仰と人々の暮らし（生活習慣、食生活、年中行事、家族など）を理解する。 ・イスラム教文化圏の人々の価値観について 				授業中使用プリント、ノートを読み返してまとめておく。			
9	キリスト教の基礎	テキスト②28～36 ページ、80～92 ページ、178～185 ページを事前に読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・イエス・キリストの生涯やキリスト教の教えを学習する。 ・旧約聖書と新約聖書の概要を理解する。 ・イスラム教、ユダヤ教との違いを理解する。 				授業中使用プリント、ノートを読み返してまとめておく。			

10	キリスト教文化と人々の暮らし	テキスト②88 ページを事前に読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> キリスト教の信仰と人々の暮らし（生活習慣、年中行事、家庭など）を理解する。 キリスト教文化圏の人々の価値観。 	授業中使用プリント、ノートを読み返してまとめておく。
11	中国、韓国の人々の価値観や生活習慣	配付資料を事前に読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 中国人、韓国人と日本人は、文化的背景の相違にもとづいて、価値観や生活習慣がどのように異なっているのか考察する。 	授業中使用プリント、ノートを読み返してまとめておく。
12	南米、東南アジアの人々の価値観や生活習慣	配付資料を事前に読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 南米人、東南アジア人と日本人は、文化的背景の相違にもとづいて、価値観や生活習慣がどのように異なっているのか、考察する。 	授業中使用プリント、ノートを読み返してまとめておく。
13	在日中国系他、アジア系の子どもと保護者	配付資料を事前に読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 在日中国系他、アジア系の子どもたちや保護者が、保育所で抱えている課題について考察する。 	授業中使用プリント、ノートを読み返してまとめておく。
14	在日ブラジル系の子どもと保護者	配付資料を事前に読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 在日ブラジル系の子どもたちや保護者が、保育所で抱えている課題について考察する。 	授業中使用プリント、ノートを読み返してまとめておく。
15	多文化保育に求められていること（まとめ）	今までの授業資料とノートを事前に読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 授業の振り返りを行い、授業の理解を深める。 	授業の到達目標について、自らの到達度を確認し、今後の課題を整理する。
成績評価	授業中の演習（30%）、試験（70%） 合計 100%			
教員からのコメント	<p>保育所では、外国籍の子どもや様々な文化を持つ子ども達が一緒に生活しています。保育者は、多文化共生の保育を子どもと保護者と共に実践していく必要があります。保育所保育指針では、保育全般に関わる配慮事項の一つとして、「子どもの国籍や文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるようにすること」とあります。</p> <p>本科目は、日本及び外国の伝統文化、宗教、価値観などを学びながら、多文化共生の保育をすすめるために保育士は、どのような心構えが必要なのかを考えていきます。</p>			
教科書	①書名 日本人のしきたり 著者 飯倉晴武 発行所 青春出版社 ②書名 常識として知っておきたい世界の三大宗教 著者 歴史の謎を探る会編 発行所 河出書房新社（KAWADE夢文庫）	推薦図書	書名 多国籍化する日本の学校 著者 佐久間孝正 発行所 勁草書房 書名 子どもの成長と環境 編著 松澤員子編 発行所 昭和堂	